



紡ぐ tsumugu

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第4号
令和2年7月1日
校長 荒井 友香

必要な知識や技能を着実に身に付ける

皆さんは、音楽を聴きますか？どんな機材を使って、音楽を聴きますか？

私が幼かった頃は、大きなカセットデッキで聞いていました。しばらくして、ウォークマンと呼ばれるものが出てきて、次に…と、どんどん変化し、手軽に音楽が聴けるようになりました。

「これからの変化の激しい時代」という人がいますが、変化はすでに起きているし、私たちはその中で、順応して生活してきました。皆さんよりも長く生きている大人たちは、世界は変化すること、その中で、新たな仕事やサービスが次々と生まれ、なくなった職業もあることを知っています。「留守番」と聞いて、職業と考える人は少ないですね。しかし、「留守番」は、平成2年の国勢調査まで職業として登録されていました。平成の間に、30以上の職業がなくなったといわれています。これから先も、機械の自動化が進むにつれて、なくなっていく職業もあるといえます。一方で、新たに誕生している職業もあります。生徒の皆さんが活躍する社会では、職業そのものへの考え方も変わり、一つの仕事に就いて定年退職まで迎えることができる人は、ほぼないかもしれません。

職業につくと、その仕事内容に応じて、必要な知識や技能を身に付ける必要があります。石神井西中学校に在る間に、皆さんに身に付けてほしい能力として、「必要な知識や技能を着実に身に付ける」能力があります。もう少し言葉を足すと、「自分に合った方法で、必要な知識や技能を着実に身に付けられるようになってほしい」ということです。

「必要な知識や技能を着実に身に付ける方法」として、すぐに思いつくのは3つです。

- ・知りたいことの調べ方を知っておく。
- ・自分の特性を生かして、理解したり活動したりする工夫ができるようにしておく。

・自分に合った記憶の仕方を知っておく。

個性は人それぞれと言いますが、知識や技能の身に付け方も人それぞれです。暗記の仕方だけでも、何回も書いて覚える人、できるかぎり実践して覚える人、語呂合わせで覚える人と様々です。

あなたは、どれが一番合いそうですか。

授業中に行っている、調べることも、実験などの活動をすることも、友達と話し合うことも、すべて、勉強の仕方、知識や技能を身に付ける方法の一つです。まず授業中に真剣に試してみて、合わなければ、授業以外で動画を見る、音声に録音して聞くといった、他の方法を試みれば良いのです。自分に合った方法で、必要な知識や技能を着実に身に付けられるようになってください。

自分に合った方法を探すわけですから、「必要な知識や技能を身に付ける」方法を知ることは、自分の特性を知ることにもつながります。

特性を知ること、あなたが自分らしさを発揮して未来を考える上でも、大きなヒントになることでしょう。

学校で学んでいる知識や技能は、社会生活の基盤となるものをもとにも広く含んでいます。ですから、直接的に役立っている実感を得にくく、「学校で学んでいたことはあまり役に立っていない」という人がいます。しかし、大人になって、「もっと学校で真剣に学んでおけば良かった」という人が多いのも事実です。実際に、有名なコメディアンも40代や70代になってから、大学や大学院に入って勉強し直しています。

どちらの立場の人も、口をそろえて言うのは、「勉強の仕方を知っておくことの大切さ」です。

変化の激しい社会はすでに来ています。その中で、自分の就きたい職業につき、のびのびと生活していくために、必要な知識や技能の身に付け方を見つけてください。

ご協力ありがとうございました。

感染症の拡大予防策として、保護者会を動画の配信に代えさせていただきました。

初の試みでしたが、「繰り返し見ることができたので、良かった」「知りたい内容がよく分かった」等のお褒めの言葉をたくさんお寄せいただきました。ありがとうございます。動画に対してのご意見やご質問はありませんでした。

また、地域の方から、本校の予防対策や自学自習ノートの取組について、お褒めと励ましの言葉を複数いただきました。

現在は、3年生を対象として、進路説明会も動画配信で代えさせていただいております。よろしくお祈りします。

1階 1年生下駄箱横の絵画について

1年生の下駄箱横に卒業生による絵画が飾られており、長年私たちの目を楽しませてくれていました。しかし、絵画の色落ちなどが見られたことから、これ以上の経年劣化を防ぐために取り外し、別室で大切に保管することになりました。



成績評価・通知表の配布について

今年度は、通知表の配布を10月中旬、3月末の2回行います。

これに伴い、成績評価も同時期に実施します。6月に学校での教育活動を再開していますが、実技教科を中心として、成績評価をつけるための十分な資料がまとまらないことによる対応です。なお、3年生の進路指導については必要な情報を提供できるよう準備を進めております。

部活動の段階的な再開について

部活動について、段階的に再開することになりましたのでお知らせします。

6月22日～個人練習開始

6月29日～少人数による活動

7月6日～試合形式や話し合いを含む練習

7月23日～対外試合等の再開

本校では、生徒に多様な経験をしてほしいと願い、部活動への入部を奨励しています。活動に際し、不安のある場合には、部活動顧問までご相談ください。また、保護者会が必要な部活動は、7月10日以降、個別に開催します。

練馬区連合行事について

以下の連合行事は中止が決定したとの連絡がありましたのでお知らせします。

- ・オーケストラ鑑賞教室・連合ダンス
- ・連合陸上競技大会
- ・連合音楽会
- ・連合演劇
- ・連合英語学芸会

子どもたちに身につけさせたい力

生活指導主任 古賀 旭

3歳の息子がオセロを覚えたというので、始めてみると、私が裏返すたびに「僕の黒！」と泣かれて、結局黒一色でゲーム(?)は終了した。善悪を白黒に例えることがあるが、皮肉にも盤上は真っ黒であった。

「白黒つける。」現実はそのような単純ではない。その都度悩み、判断をしなければならない。特にVUCAと呼ばれる予測困難な社会に突入し、そこを生き抜く今の中学生たちは、より高度な善悪の見極め、判断力が必要となる。そこで、今年度の生活指導の重点目標の一つに『規律正しい集団行動と、自分で善悪を判断し実行する行動力』というものを設定した。たった一度の過ちがSNSやインターネット上で永久に残り続けるような世の中。子どもたちを加害者にも被害者にもしたくない。将来、ルールを守り、直面した出来事を解決していけるよう、中学校生活を通して、規範意識と判断力を身につけさせたいと思う。

青空の下、今年も1・2年生、1・3年生の合同体育が行われた。緊張感ある整列の後、先輩が自分の言葉で、自由な教え方で、後輩にダンスを指導する。自由だけど規律がある。そして笑顔。今年も石西伝統のバトンリレーはしっかりと行われた。こういう生活指導を目指していきたい。